後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	担当部	福祉保健部
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実		
単位施策名称	2	子育て環境の確保		
施策の方向性	●安心して子育てできるよう、親子で過ごせ、情報交換できる交流の場を確保するなど、子育て家庭を支援する環境づくりを行います。 ●子育て支援メニューを充実させ、仕事と子育ての両立等を支援する環境づくりに取り組みます。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	待機児童数	人	目標値		0	0	0	0	0
			実績値	4	0	0	0	0	0
			達成状況		達成	達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、その対策にも取り組んでいく必要があります。
R4	保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、その対策として新しい保育所の新設を進める準備に取り組んでいます。
R5	保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標は達成できました。しかし、潜在的な待機児童は1年を通して存在しており、受け入れ先の確保に取り組んでいます。
R6	保育所の待機児童数については、国基準の待機児童数は0人で、目標を達成できました。 また、認可保育所を1園新設し、児童の受け入れ枠を拡充しましたが、潜在的な待機児童は1年を通して存在しているため、引き続き受け入れ先の確保に取り組みます。
R7	期間内において事業目標が未達成である事務事業は多々ありますが、施策目標は全年度達成しており、町の施策の方向性は総合的に待機児童数ゼロへ結び付いているものと分析します。

・評価及び対応方針

R3	既存の保育所等では施設的に限界があるため、新しい保育所等の建設・運営主体となる法人を公募することとし、仕事と育児の両立を図る環境づくりを継続していきます。
R4	令和4年度に、新しい保育所等の建設・運営主体となる法人を公募し、令和5年度建設、令和6年度開園の予定で事業を進めており、待機児童解消を図るとともに、仕事と育児の両立を図る環境づくりの準備を進めています。
R5	令和4年度に公募した新規保育所においては、令和5年度建築完了し令和6年度から開園予定です。仕事と育児の両立を図る環境づくりが促進できました。
R6	令和6年4月から新たに認可保育所を１園開設し、児童の受け入れ枠を拡充したことで、待機児童のみならず、潜在的待機児童の緩和に繋がりました。 今後は、各園の適切な定員管理を行い、引き続き仕事と育児の両立を図る環境づくりに努めます。
R7	本実施計画では子育て施策を重点分野として策定しましたが、十分な成果を上げることができました。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	地域子育て支援拠点事業	16,796	16,796	17,278	26,142	26,209	103,221
2	病児・病後児保育事業	16,876	17,677	17,907	19,035	21,379	92,874
3	プラチナ保育支援事業	2,565	2,520	1,695	1,275	825	8,880
4	保育所等創設助成事業	0	0	227,987	0	0	227,987
5	新卒保育士等就職支援金貸付事業	0	0	0	1,700	800	2,500
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		36,237	36,993	264,867	48,152	49,213	435,462

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	地域子育て支援拠点事業	事業番号	132101
担当部署名	福祉保健部　　子育て支援課		

政策体系

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実
単位施策	2	子育て環境の確保

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ つどいの広場（出前講座）を年間72回開催し、補助金を交付しました。 ・府中ひかり保育園　10回開催　延べ　241人参加 ・若竹保育園　　62回開催　延べ1,509人参加 ○ 「地域子育て支援センター」で子育てイベントを実施しました。「バンビーズ」及び「ハッピーズ」では新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 ・府中ひかり保育園　延べ3,440人参加 ・若竹保育園　　延べ3,206人参加
R4	○ つどいの広場（出前講座）を年間107回開催し、補助金を交付しました。 ・府中ひかり保育園　35回開催　延べ　986人参加 ・若竹保育園　　98回開催　延べ2,294人参加 ○ 「地域子育て支援センター」等で子育てイベントを実施しました。「バンビーズ」及び「ハッピーズ」では新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。 ・府中ひかり保育園　延べ5,177人参加 ・若竹保育園　　延べ4,541人参加
R5	○ つどいの広場（出前講座）を開催し、補助金を交付しました。 ・府中ひかり保育園　44回開催　延べ1,971人参加 ・若竹保育園　　84回開催　延べ3,127人参加 ○ 「地域子育て支援センター」等で子育てイベントを実施しました。 ・府中ひかり保育園　延べ6,406人参加 ・若竹保育園　　延べ6,259人参加
R6	○ つどいの広場（出前講座）を開催し、補助金を交付しました。 ・府中ひかり保育園　　51回開催　延べ2,218人参加 ・若竹こども園　　88回開催　延べ2,698人参加 ○ 「地域子育て支援センター」等で子育てイベントを実施しました。 ・府中ひかり保育園　　延べ6,109人参加 ・若竹こども園　　延べ5,960人参加 ・府中なかよし保育園　延べ4,566人参加
R7	○ つどいの広場（出前講座）を開催し、補助金を交付しました。 ・府中ひかり保育園　　47回開催　延べ2,009人参加 ・若竹こども園　　87回開催　延べ2,232人参加 ○ 「地域子育て支援センター」等で子育てイベントを実施しました。 ・府中ひかり保育園　　延べ5,838人参加 ・若竹こども園　　延べ5,604人参加 ・府中なかよし保育園　延べ4,829人参加

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	つどいの広場（出前講座）の参加者数	人	目標値	9,237	9,237	9,237	9,237	9,237
			実績値	1,750	3,280	5,098	4,916	4,241
			達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	未就学児親子の交流・情報交換の場の提供が目的のため、つどいの広場の参加者数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	16,796	5,598	5,598	0	0	5,600
R4	16,796	5,599	5,599	0	0	5,598
R5	17,278	5,759	5,522	0	0	5,997
R6	26,142	8,581	8,581	0	0	8,980
R7	26,209	8,736	8,736	0	0	8,737
合計	103,221	34,273	34,036	0	0	34,912

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業を中止しているため、開催回数及び参加者が減少しています。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響により参加者が減少しています。感染対策を行いつつ事業を実施しましたが、目標は未達成となりました。
R5	新型コロナウイルス感染症の影響があり、利用者数が落ち込んでいたところ、昨年度は５類に移行した影響もあり、ゆるやかな回復傾向にあります。
R6	参加者数について、前年度と同水準となり、目標を達成できませんでした。
R7	参加者数について、前年度と同水準となり、目標を達成できませんでした。

・評価及び対応方針

R3	事業を継続します。
R4	引き続き事業を継続します。
R5	引き続き事業を継続します。
R6	引き続き事業を継続します。
R7	引き続き事業を継続します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部事業を中止したため、開催回数及び参加者が減少し、目標は未達成となりました。
R4	コロナ禍の中、感染対策を行いながら事業を実施しましたが、目標を達成できませんでした。
R5	新型コロナウイルス感染症の５類に移行により参加者数が前年度から増加しました。
R6	令和６年度から１事業者増加しましたが、出前講座を含む広場参加者は減少しました。
R7	つどいの広場（出前講座）の参加者数は対前年度86%となり、かつ目標値の半分以下に落ち込んでおり、事業目標は未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	事業の開催方法等工夫をしながら、事業を継続します。
R4	引き続き事業を継続します。
R5	引き続き事業を継続します。
R6	府中なかよし保育園が事業を開始し、３事業者で事業を行います。
R7	コロナ禍以前の実績を参考に目標値を定めましたが、幼児数や保育士数等社会背景が大きく変化しており、現在目標値を達成できる状況にはありません。 しかし、未就学児親子の交流・情報交換の場として、貴重で有益な事業であると評価しています。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	病児・病後児保育事業	事業番号	132102
担当部署名	福祉保健部　　子育て支援課		
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	2	子育て環境の確保	

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ890人（町内利用者数537人、町外利用者数353人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは10件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は97人でした。
R4	○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ1,083人（町内利用者数646人、町外利用者数437人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは5件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は97人でした。
R5	○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ1,293人（町内利用者数828人、町外利用者数465人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは2件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は189人でした。
R6	○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ1,078人（町内利用者数723人、町外利用者数355人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは3件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は157人でした。
R7	○ 向洋こどもクリニック内病児保育室「ダンボ」において、病気の子どもを保護者に代わり預かり保育しました。延べ832人（町内利用者数594人、町外利用者数238人）が利用しました。 ○ 送迎サービスは2件の利用がありました。 ○ 広域利用協定による他市町の病児保育室を利用した人数は226人でした。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	利用者数	人	目標値	1,195	1,195	1,195	1,195	1,195
			実績値	987	1,180	1,482	1,235	1,058
			達成状況	未達成	未達成	達成	達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	保護者の子育てと就労の両立を支援する事業のため、利用者数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	16,876	5,419	5,419	0	1,790	4,248
R4	17,677	5,676	5,676	0	1,891	4,434
R5	17,907	5,600	5,468	0	2,003	4,836
R6	19,035	5,960	5,960	0	329	6,786
R7	21,379	6,479	6,479	0	1,551	6,870
合計	92,874	29,134	29,002	0	7,564	27,174

５．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しているものの、前年度実績（473人）と比較すると、倍増しています。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えもあり、目標は達成できませんでした。
R5	新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことで、受診控えがゆるやかに緩和され、目標を達成できました。
R6	前年度から減少しましたが、冬季を中心に多数の利用があり、目標を達成できました。
R7	町施設の利用者は前年度より減少しましたが、町外施設利用者は増加しました。しかし、目標は達成できませんでした。

・評価及び対応方針

R3	事業を継続します。
R4	引き続き事業を継続します。
R5	引き続き事業を継続します。
R6	引き続き事業を継続し、併せて予約システムの導入を検討します。
R7	引き続き事業を継続します。次年度は、予約システムを導入する予定です。

６．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少で、目標は達成できませんでした。利用者の増減には、インフルエンザやおたふくかぜなどの流行等の影響も考えられます。
R4	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少で、目標は達成できませんでした。
R5	新型コロナウイルス感染症の５類移行等により生活スタイルが回復し利用者が増えたと推察します。
R6	感染症の流行等により目標値に対して利用が上回りました。
R7	事業目標である利用者数は未達成となりましたが、子どもが病気に至らなかった可能性もあり、事業目的は遂行しているものと分析します。

・評価及び対応方針

R3	送迎サービスも含め、事業の啓発を図りながら、事業を継続します。
R4	病児保育室の利用だけでなく、広域利用及び送迎サービスも含め、事業の啓発を図りながら、事業を継続します。
R5	病児保育室の利用だけでなく、広域利用及び送迎サービスも含めた事業の啓発を図ります。
R6	病児保育室の利用だけでなく、広域利用及び送迎サービスも含め、事業を継続します。
R7	子育てと就労の両立を行政として支援するため、必要な事業であると評価します。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略 ○

事務事業の名称	プラチナ保育支援事業	事業番号	132103
担当部署名	福祉保健部　　子育て支援課		

政策体系

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実
単位施策	2	子育て環境の確保

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 保護者に代わり、祖父母等が孫等の保育を行うことに対してプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数26人） ○ 実態調査を10月に実施しました。
R4	○ 保護者に代わり、祖父母等が孫等の保育を行うことに対してプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数25人） ○ 実態調査を9月(2人)と3月(4人)に実施しました。
R5	○ 保護者に代わり、祖父母等が孫等の保育を行うことに対してプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数17人） ○ 実態調査を9月(4人)と10月(4人)に実施しました。
R6	○ 保護者に代わり、祖父母等が孫等の保育を行うことに対してプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数13人） ○ 実態調査を9月(4人)に実施しました。
R7	○ 保護者に代わり、祖父母等が孫等の保育を行うことに対してプラチナ保育手当を支給しました。（実利用者数12人） ○ 実態調査を9月(4人)に実施しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	利用者数	人	目標値	24	24	24	24	24
			実績値	26	25	17	13	12
			達成状況	達成	達成	未達成	未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法		近居（同居）の祖父母等による保育の支援が目的のため、利用者数を指標としました。						

４．コスト情報(決算)

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	2,565	0	0	0	10	2,555
R4	2,520	0	0	0	270	2,250
R5	1,695	0	0	0	155	1,540
R6	1,275	0	0	0	368	907
R7	825	0	0	0	0	825
合計	8,880	0	0	0	803	8,077

５．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	目標は達成しました。
R4	目標を達成しました。 保護者は祖父母等の協力で安心して就労でき、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができるなど相互にメリットがあり推奨するものです。家庭訪問による実態調査も行いました。
R5	目標を達成できませんでした。保育施設への入所により、取り下げられるケースが多く年間を通じての利用者が減っています。
R6	目標を達成できませんでした。 令和6年4月から新たに１園の認可保育所が開設され、児童の受け入れ枠が拡充したことでプラチナ保育を取り下げられるケースが多く、年間を通じての利用者が減っています。
R7	目標を達成できませんでした。 令和6年4月から新たに1園の認可保育所が開設され、児童の受け入れ枠が拡充したことでプラチナ保育を取り下げられるケースが多く、年間を通じての利用者が減っています。

・評価及び対応方針

R3	保護者は祖父母等の協力で安心して就労でき、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができる等相互にメリットがあり推奨するものです。家庭訪問による実態調査も行いました。引き続き、入所申請に来られた方にも案内していきます。
R4	保育所入所申請に来られた方に対しても、継続して案内を行います。
R5	令和6年度から新規園が開設され、安心して保育をうけることができる施設が１増となったことから、本制度は令和6年度をもって廃止することも視野に入れ、今後の対応を検討していきます。
R6	令和6年4月から新たに1園の認可保育所が開設され、保育の提供体制がより充実したことから、本制度は令和７年度をもって廃止することも視野に入れ、今後の対応を検討していきます。
R7	令和6年4月から新たに1園の認可保育所が開設され、保育の提供体制がより充実したことから、本年度は継続実施しましたが、次期実施計画では廃止も視野に検討します。

６．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	新型コロナウイルス感染症の影響により、入園・通園控えがある中で、プラチナ保育支援事業の利用者は微増しており、目標を達成できました。
R4	3歳未満児の保育の選択肢を増やすことで、プラチナ保育を選択してもらうことができ、目標を達成しました。同居又は近居（町内）の祖父母等に孫育てを協力してもらうことで、保護者は安心して就労等ができ、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができるなど相互にメリットがあります。
R5	施設入所したことを理由とした取り下げが多く、保育環境の整備が進んでいるため利用者が減っています。
R6	保育所が１園新設されたことで保育環境が変化し、利用者が減少しています。
R7	新たな保育園の開設を背景に、令和5年度以降利用者数は減少しており、事業目標は未達成となりました。

・評価及び対応方針

R3	同居又は近居（町内）の祖父母等に孫育てを協力してもらうことで、保護者は安心して就労等ができ、祖父母等も孫を保育することで生き生きとした生活を送ることができる等相互にメリットがあります。引き続き、3歳未満児の保育の選択肢の一つとして、案内していきます。
R4	引き続き、3歳未満児の保育の選択肢の一つとして、事業を進めます。
R5	利用者が減っていることに加え、令和6年度から新規園が開設されこどもの預入先も増えることから、本制度の廃止について検討していきます。
R6	今後は、「誰でも通園制度」も予定されていることから事業廃止の検討が必要です。
R7	本事業は一定の役割を終えたとも考えられ、次期実施計画においては、廃止も視野に検討を行います。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略：○

事務事業の名称	保育所等創設助成事業	事業番号	132104
担当部署名	福祉保健部　　子育て支援課		

政策体系

基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実
単位施策	2	子育て環境の確保

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○　令和5年度開始事業のため実績なし
R4	○　令和5年度開始事業のため実績なし
R5	○　令和4年度実施の保育所等設置・運営事業者に係る公募において決定した事業者（府中なかよし保育園）に対して補助金を交付しました。 ・総事業費：482,450,300円（うち創設分：473,650,300円、うち防音壁分：8,800,000円） ・補助ベース：創設、国費（2/3）197,427,000円、町費（1/12）24,678,000円 防音壁、国費(1/2)3,921,000円、町費(1/4)1,961,000円 補助額計：227,987,000円
R6	○　当該年度の実績なし
R7	○　当該年度の実績なし

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	新規助成数	施設	目標値	－	1	－	－	－
			実績値	－	－	1		
			達成状況	－	未達成	達成		
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	施設の整備助成が目的のため、新規助成数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	0
R5	227,987	201,348	0	21,300	0	5,339
R6	0	0	0	0	0	0
R7	0	0	0	0	0	0
合計	227,987	201,348	0	21,300	0	5,339

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	－
R4	－
R5	当初の施工進捗どおり、令和5年度内に竣工することができ、目標達成できました。
R6	－
R7	－

・評価及び対応方針

R3	－
R4	－
R5	令和6年度開園のなかよし保育園の運営動向に注視します。
R6	－
R7	－

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	－
R4	－
R5	当初の施工予定どおり進捗し、目標達成しました。
R6	－
R7	－

・評価及び対応方針

R3	－
R4	－
R5	事業の完了とします。
R6	－
R7	－

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略

事務事業の名称	新卒保育士等就職支援金貸付事業	事業番号	132105
担当部署名	福祉保健部　　子育て支援課		
政策体系			
基本目標	1	みんなで支え合い、未来につなぐまちづくり	
基本施策	3	多世代連携による子育て支援の充実	
単位施策	2	子育て環境の確保	

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○　令和6年度開始事業のため実績なし
R4	○　令和6年度開始事業のため実績なし
R5	○　令和6年度開始事業のため実績なし
R6	○　町内認可保育施設に1日6時間以上、月20時間以上勤務するよう採用が決まっている保育士等に対して、就職支援金として1人あたり10万円貸し付けます。1年間従事し、翌年も継続して従事する場合、貸付金の返還が免除されます。 ○　令和6年度は、20人に貸付を行い、その内17人の返還を免除しました。（3人は1年以内に退職）
R7	○　町内認可保育施設に1日6時間以上、月20時間以上勤務するよう採用が決まっている保育士等に対して、就職支援金として1人あたり10万円貸し付けます。1年間従事し、翌年も継続して従事する場合、貸付金の返還免除。 ○　令和7年度は、8人に貸付を行い、全員の返還を免除しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	翌年度継続従事者数	人	目標値	－	－	－	20	16
			実績値				17	8
			達成状況				未達成	未達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	令和6年4月からの新規保育園開所にあたり、既存認可保育施設の保育士確保が目的のため、翌年度継続従事者数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	0	0	0	0	0	0
R4	0	0	0	0	0	0
R5	0	0	0	0	0	0
R6	1,700	0	0	0	100	1,600
R7	800	0	0	0	0	800
合計	2,500	0	0	0	100	2,400

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	－
R4	－
R5	－
R6	積極的に周知を行い、貸付人数は目標の水準に達していましたが、１年以内の退職が数人発生し、最終的には目標を達成できませんでした。
R7	積極的に周知を行い、申請者全てに免除通知を発送しましたが、目標を達成できませんでした。

・評価及び対応方針

R3	－
R4	－
R5	－
R6	令和7年度までの2年間の事業ですが、引き続き制度の周知を行い、目標達成に努めます。
R7	保育士確保は継続的な課題であり、次期実施計画においても事業化を検討します。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	－
R4	－
R5	－
R6	町内に1園新設されることから町内の保育所で保育士不足が生じることのないよう実施したもので、町内の保育所から保育士が不足しているとの声はありません。
R7	事業目標である翌年度継続従事者数は、昨年度に引き続き未達成となりましたが、事業目的である保育士の確保については、一定の効果を得ました。

・評価及び対応方針

R3	－
R4	－
R5	－
R6	翌年度も引き続き事業を実施します。
R7	保育士不足については喫緊の課題であり、保育所等からは事業の継続要望があることから、次期実施計画においても事業化を検討することとします。